

アドミッションセンター報告書（第6号）の刊行にあたって

アドミッションセンター長 児玉 浩明

アドミッションセンターの活動にご理解、ご協力頂き、有り難うございます。アドミッションセンターは入学者選抜の企画・広報・実施等の業務を行い、佐賀大学の教育研究の充実発展に寄与することを目的として、平成19年10月に発足しました。発足から7年半がたち、皆様のご支援により活動が実績に結びついてきました。

平成26年度は、平成21年公示高等学校学習指導要領に対応した最初の入試となりました。センター試験では、数学と理科の出題科目が変更されるとともに、旧課程履修者に対する経過措置が講じられ、大変複雑な仕組みでの実施となりました。また、12月には高大接続答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について（答申）」、翌1月には、この答申で提言された改革の具体的なプランである「高大接続改革実行プラン」が策定されました。この答申では、高等学校教育と大学教育、そして大学入試選抜を一体的に変えるという明治維新以来と言われる改革が謳われています。アドミッションセンターでは以前より高大接続の見直しをおこなってきましたが、この答申と改革プランを契機に、佐賀大学の入試改革を策定しています。改革の第1段として、これまで単発的に実施されてきた高大連携活動を見直し、高校生3年間を通して実施する継続・育成型高大連携プログラム「教師へのとびら」を文化教育学部と共同で実施しました。佐賀県内から100名の教師を目指す高校生が参加し、新しい連携がスタートしました。選抜方法の変更としては、平成27年度から理工学部で大学入試センター試験を課す推薦入試Ⅱを実施しました。理工学部においては、平成25年度一般入試での個別試験の導入に続く、大きな入試改革です。今後この選抜方法が機能していくことを期待しています。

本センターでは、各学部や研究科の入学試験方法等を改善するための調査・分析を行い、アドミッションセンター報告書にまとめています。平成26年度の第6号では、例年の「一般入試に関する分析」や「新入生アンケート調査分析結果」に加え、平成28年度文化教育学部改組に係る「教育学部（仮称）」と「芸術学部（仮称）」設置に関するニーズ調査結果を掲載しました。報告書後半には、皆様のご協力のもと実施されたオープンキャンパスやジョイントセミナーの報告を掲載しました。また、アドミッションセンターの年間活動や専任教員の業績も掲載しています。

平成27年度は、第二期中期計画の取り纏めが始まると共に、平成24年度から実施されている新高等学校学習指導要領による数学・理科に関する入試制度変更が始まります。平成27年度入試ではまず数学と理科が変更されることに伴い、大学入試センターが大きく変わります。学内の施設整備計画による講義等改修も予定されています。皆様には、一層のご支援、ご助言を頂きます様、お願い致します。

## 目 次

1. 平成 26 年度一般入試に関する分析	1
2. 平成 26 年度学部新入生アンケート調査分析結果	11
3. 平成 26 年度オープンキャンパス報告書	54
4. 平成 26 年度ジョイントセミナー参加者アンケート分析結果	81
5. 「教育学部（仮称）」設置に関するニーズ調査	100
6. 「芸術学部（仮称）」設置に関するニーズ調査	116
7. 追跡調査①正規教員・公務員の就職状況と入試成績の関係分析	141
8. 追跡調査②非ストレート卒業者の単位取得推移分析（2008 年度入学者）	150
9. 高大連携活動：平成 26 年度教師へのとびら報告書	166
10. 佐賀大学入学者選抜の PDCA サイクル機能強化に向けて	174
11. 高校教員対象の入試説明会実績	177
12. 大学入試研究ジャーナル掲載論文	191
13. アドミッションセンター専任教員活動実績	198
14. アドミッションセンター業務実績	203
15. 平成 25 年度自己点検・評価書	218